

着任のご挨拶

西伯病院に10月1日から着任された医師をご紹介します。



内科副部長
うだがわ あきひで
宇田川 晃秀



精神科医師
みうら あきひこ
三浦 明彦

- ・ 医学博士
- ・ 日本内科学会認定医
- ・ 日本消化器病学会認定専門医
- ・ 日本消化器内視鏡学会認定専門医

認定専門医

10月より西伯病院内科に勤務させていただくことになりました。内視鏡治療を中心とした消化器内科を専門としてきましたが、これからは地域の皆さまに一般内科としてより良い医療を提供できるように頑張りたいと思います。

まだ不慣れな点もあり、ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、よろしくお願いたします。

10月から鳥取大学医学部附属病院より西伯病院に着任しました。大学時代は野球部に所属しており、よく病院傍の西伯カントリーパーク野球場に訪れていたため、通勤中には当時を思い出し懐かしさを感じています。

私は生まれも育ちも米子市であり、少しでも鳥取県西部地区の精神科医療に尽力出来ればと考えております。よろしくお願いたします。



季節性インフルエンザ 予防接種がはじまります

インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こります。インフルエンザにかかった人が咳やくしゃみなどをするにより、ウイルスが空気中に広がり、それを吸い込むことによって感染します。インフルエンザは流行が始まると、短期間に小児から高齢者まで多くの人に感染します。このような点からインフルエンザは普通の風邪とは違い、感染しないように予防することが大切です。

インフルエンザ予防接種

インフルエンザの予防接種は免疫をつけ、死亡者や重症者の発生を出来る限り減らすために実施します。

今シーズン使用するワクチンは、季節性インフルエンザ(A/H3N2、B)と新型インフルエンザ(A/H1N1)の株が混合された3価ワクチンとなります。

予防接種を受ける時期は？

インフルエンザの予防接種は、毎年10月中旬頃から開始します。抗体ができるまでに3〜4週間かかるため、インフルエンザが流行する1月までに抗体をつけるためには12月中旬頃までに予防接種を受けることをお勧めしています。

受付

インフルエンザ予防接種は町内医療機関で接種ができます。接種を希望される方は、かかりつけの主治医にご相談ください。

※65歳以上の方は、南部町が発行する「インフルエンザ予防接種票」をお持ちいただく1000円で受けられます。(一部の方を除く)

※12歳以下のお子様については、インフルエンザに対する免疫力が少ないため、2回受けられることをお勧めします。

西伯病院で予防接種を希望される方はお電話にて予約をお願いします。

西伯病院 ☎ 66-2211

